

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ビジュアルアーツ 専門学校	昭和37年4月1日	村中 修	〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-23 (電話) 06-6341-4407				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 大阪安達学園	昭和43年5月14日	安達 暁子	〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-9 (電話) 06-6344-3931				
目的	コンサート音響・照明、音楽録音分野で要求される知識・技術、およびコミュニケーション能力のある人材を育てることを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	音響芸術 学科	平成6年文部科学 省告示第84号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,920	648	0	1,272	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
200人	196人	4人	14人	18人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 課題評価、試験等評価により			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月17日～9月2日 ■冬季:12月25日～1月6日 ■学年末:3月11日～3月31日		卒業・進級条件	卒業条件:規定単位修得及び卒業 課題に合格し且つ学費の完納者 進級条件:卒業見込み者			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者へのカウンセリング等		課外活動	■課外活動の種類 エクステンション講座、合宿、学校祭等 ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)大阪共立、(株)ハートス、(株)ティ・エル・シー、(株)ミュージッククラブ、(株)総合舞台、四季(株)他 ■就職率 ^{※1} : 79.5 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 67.4 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	日本音楽スタジオ協会 レコーディング技術認定試験 ProTools技術認定試験			
中途退学の現状	■中途退学者 25 名 平成26年4月1日 在学者 227 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 202 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 11 % ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭の事情等 ■中退防止のための取組 欠席者へ日々の電話連絡、学校行事(球技大会・合宿・学校祭等)への参加促進				

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力点をおき学ぶことで、社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探るための評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との連携を力強く緊密に行い、業界の状況に即した弾力的なカリキュラム編成とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名前	所属
西村 幸男	関西映像プロダクション協会 幹事
吉川 直哉	宝塚造形大学 造形学部部長
藤井 卓	株式会社 タック 代表取締役
三好 和也	有限会社 ちゆるんカンパニー 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成26年8月 5日 10:00~11:00

第2回 平成27年3月11日 10:00~11:00

第3回 平成27年8月 5日 10:00~12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携し、担当教員と企業等の講師が連携して授業を行い、舞台音響技術について現場に対応できる基本技術を身に付けさせる。成績評価においては修得成果を講師が評価し担当教員が成績評価及び単位認定をする。

科目名	科目概要	連携企業等
基礎実習	コンサートイベントにおけるシステム(照明・PA)の基本的な構築方法及び運用方法を習得する。	株式会社タック

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

音響業界における技術的な知識のほか、安全対策、学生指導に対する研修を目指す。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名前	所属
山本 眞弘	株式会社 夢現社 代表取締役社長
本井 啓治	本井公認会計士事務所
藤井 卓	株式会社タック 代表取締役
橋本 匡史	株式会社 東京ビジネス
下城 惇	東方典礼カトリック教会 総大司教
渡邊 政人	株式会社アイドマフォト 大阪デザイナー専門学校 卒業生
小笠原 圭彦	小笠原写真事務所 ビジュアルアーツ専門学校卒業生
高田 泰生	株式会社サップス 大阪ビジネスカレッジ卒業生
森本 博士	株式会社 創英 取締役社長 大阪観光専門学校 卒業生保護者

(学校関係者評価結果の公表方法)

<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 音響芸術学科 2年制) 平成26年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎実習	コンサートイベントにおけるシステム（照明・PA）の基本的な構築方法及び運用方法を習得する。	1通	132				○	○		○	○	
○			表現演習技術	コンサート等音響イベントにおける音響・照明における技術的表現を演習する。	1通	132				○	○			○	
○			録音技術	音楽録音制作における録音機器の取り扱いや収録技術について基本事項を習得する。	1通	132				○	○		○		
○			スタジオ技術	基礎的な音響技術と音響作品を制作するための機器操作における基礎技術を習得する。	1通	132				○	○		○		
○			音響音楽概論	エンジニアに求められる音響理論と音楽理論の基礎を学ぶ。	1通	330		○			○			○	
○			音楽研究	音響や映像などさまざまな作品に接して、表現するための発想力を養う。	1通	132		○			○			○	
合計						6科目	990単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 音響芸術学科 2年制) 平成26年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			音楽制作ゼミ	コンサート制作を中心にPA(音響)、照明、企画について企画から舞台設営、本番までの実習を行う。	2 通	372				○	○		○		
○			番組制作技法	ラジオ番組制作における番組の企画から収録、編集、完成までを実習する。	2 通	124				○	○				○
○			音楽録音技術	録音系PA系に必要な知識・技術としてマイク設置方法、ミキシング技術を学ぶ。	2 通	124				○	○			○	
○			PA音響技術	ミキサーやエフェクターなどの音響機材の操作技術を習得する。	2 通	124				○	○			○	
○			電子音楽概論	エンジニアに求められる音響理論や電気・電子理論を専門的に学習する。	2 通	62			○			○		○	
○			音楽学	音楽作品を制作するために必要な、基本的な楽譜の読み方や書き方、楽器についての知識を学ぶ。	2 通	124			○			○			○
合計					6科目		930単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。